

(作成年月日) 2026年3月16日

## 臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

### [研究課題名]

甲状腺眼症に対する Teprotumumab 投与前後におけるインスリン抵抗性および代謝指標の変化に関する後ろ向き研究

### [研究の目的]

甲状腺眼症 (Thyroid Eye Disease: TED) に対する治療薬である Teprotumumab は、IGF-1 受容体を阻害することで眼窩炎症を改善することが知られています。一方で、近年の報告では、Teprotumumab 投与により血糖値の上昇など代謝への影響が生じる可能性が示唆されています。本研究では、当院で Teprotumumab を投与された患者さんを対象に、投与前後でインスリン抵抗性の指標である HOMA-IR がどのように変化するかを検討します。あわせて、血糖関連指標、IGF-1 関連ホルモン、体重や BMI、眼科指標 (CAS) などの変化についても検討します。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

当院に通院中の甲状腺眼症 (TED) 患者さんのうち、2024年4月1日から2026年3月15日までの期間に Teprotumumab を投与された方

#### ○利用する情報

診断名、年齢、性別、糖尿病の有無、体重、BMI、Clinical Activity Score (CAS)、MRI 所見、ならびに以下の臨床検査値を利用します。血糖関連指標 (空腹時血糖、HbA1c、空腹時インスリン、Cペプチド、HOMA-IR、HOMA-β)、IGF-1 関連指標 (IGF-1、GH)、肝機能検査 (AST、ALT、γ-GTP、ALP、総ビリルビン、アルブミン)、脂質関連指標 (総コレステロール、中性脂肪、LDL コレステロール、HDL コレステロール)、腎機能関連指標 (尿酸、BUN、クレアチニン、eGFR)、甲状腺関連指標 (TSH、FT3、FT4、TSH 受容体抗体) に関する情報。

#### ○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

### [研究責任者]

香川大学医学部附属病院検査部 助教 佐伯 岳信

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 検査部

担当医師 佐伯 岳信 電話 TEL: 087-891-2230